



浜松市生涯学習推進大綱

重点事項

①耐震性の向上とユニバーサルデザイン化の推進 ②浜松市スポーツ・文化施設予約システム「まつぼっくり」による施設予約の利便性の向上 ③既存施設の有効活用	①耐震性の向上及びユニバーサルデザイン化推進の観点で施設整備 ②市民への浜松市スポーツ・文化施設予約システム「まつぼっくり」の活用推進、利用者の声の反映 ③施設の規模や機能の見直しによる統廃合を含めた施設配置についての検討、計画的な改修による施設の長寿命化
①学習情報提供の充実 ②学習機会の充実 ③学習ニーズの高まりへの積極的対応	①情報提供の充実、生涯学習の窓口となる担当者の資質向上 ②自己啓発と生活向上のための学習機会、地域づくりのための学習機会の充実 ③「学び直し」の機会充実、大学等高等教育機関との連携
①地域の知の拠点としての図書館 ②地域への誇りや愛着を育てる博物館・美術館 ③地域の学習拠点としての協働センター等	①地域の知の拠点としての施設機能の充実、子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備 ②地域への誇りや愛着が得られるまちづくりへの取り組み、学校教育への支援 ③学習意欲の高揚に向けての取り組み、地域の教育課題の解決に向けた学習の振興、人づくり・まちづくりの拠点としての機能充実
①人材発掘、人材登録体制の整備 ②学習成果を発揮する機会や場づくりと啓発活動 ③地域づくりの意識高揚	①地域人材の発掘、人材登録制度の整備 ②学習成果を発揮する場づくり、成果を発揮する意義の啓発活動 ③学習成果に関する情報交換やコミュニティを深める機会づくりを通して仲間づくりの創出、地域や社会の様々な活動に参加しようとする意識の高揚
①地域リーダーの養成 ②地域ボランティアの養成	①地域におけるリーダーの養成、活躍の場の提供 ②地域におけるボランティアの養成、活躍の場の提供

「夢」や「好奇心」を持って行動を起こし、仲間とのつながりを広げよう

- (1) 推進体制
 - ・生涯学習課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会、地域団体、民間団体が相互に連携、協働した推進体制
- (2) 大綱の位置づけ
 - ・第2次浜松市総合計画を上位計画とし、その分野別計画の個別計画としての位置づけ
- (3) 推進状況の管理
 - ・地域団体・民間団体等関係団体と連携した具体的な政策・施策・事業の立案
 - ・戦略計画に盛り込み、計画（Plan）-実行（Do）-評価（Check）-見直し（Action）のサイクルで推進状況の管理
 - ・浜松市社会教育委員会への推進状況の報告

大綱改定にかかる浜松市社会教育委員会の開催経過

平成19年度

回	年 月 日 (曜日)	内 容
1	平成19年 6月21日 (木)	今後の浜松市の生涯学習について
2	平成19年 8月23日 (木)	生涯学習と生涯学習社会について
3	平成19年 11月29日 (木)	大綱の骨子（案）と生涯学習アンケート結果について
4	平成19年 12月20日 (木)	大綱の第1章、第2章（案）の構成と内容について
5	平成20年 2月14日 (木)	学習環境づくりと学習成果を生かすための仕組みづくりについて

※平成19年 10月～11月 生涯学習アンケート、外国人（ポルトガル語版）アンケートを実施

平成20年度

回	年 月 日 (曜日)	内 容
1	平成20年 5月20日 (火)	地域の学習拠点とその役割について
2	平成20年 7月29日 (火)	パブリック・コメント用の大綱（案）について
3	平成20年 11月 7日 (金)	大綱（案）のパブリック・コメント意見に対する回答について
4	平成21年 1月27日 (火)	大綱の最終決定（案）
5	平成21年 3月 6日 (金)	大綱実現のための取り組み

※平成20年 9月～10月 パブリック・コメント実施

※平成20年 12月 パブリック・コメントに寄せられた意見に対する市の考え方を公表

第30期浜松市社会教育委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長

平成19年度～平成20年度	
学識経験者	◎ 津 村 公 博
社会教育関係者	○ 黒 柳 千 穂 子 稲 葉 武 司 片 桐 達 介 小 澤 幸 代 高 井 勇 中 村 伸 夫 西 野 久 夫 褐 田 幸 代 藤 下 今 朝 男
学校教育関係者	名 倉 孝 彦 山 本 啓 子（19年度） 村 松 幹 雄（20年度）
家庭教育関係者	石 塚 と も 子 太 田 佳 子 中 道 三 枝 子

※平成19年度、20年度の第30期浜松市社会教育委員会において、浜松市の生涯学習推進に関する協議を実施し、その結果を本大綱に反映しました。